

緩和ケアフォーラムin岡山 アンケート結果(第21回)

回答者: 46人回収/74人
(62.2%)

① ご所属

(1. 拠点病院 ・ 2. 病院 ・ 3. 診療所 ・ 4. 薬局 ・ 5. 施設 ・ 6. 訪問看護ステーション ・ 7. その他)

② ご職種

(1. 医師 ・ 2. 薬剤師 ・ 3. 看護師 ・ 4. PT ・ 5. OT ・ 6. MSW ・ 7. 施設関係者 ・ 8. その他)

③ 経験年数 1. 3年未満 2. 3-5年 3. 6-10年 4. 10年以上

④ 本フォーラムは地域の『顔の見える関係づくり』に貢献していますか。

1. 貢献している 2. どちらかといえば貢献している 3. どちらかといえば貢献していない 4. 貢献していない 5. わからない

⑤ フォーラムに参加後、地域における御自身のお仕事の中で変化はありましたか。

⑥ 緩和医療あるいは在宅医療において、現在、あなたが困っていることはなんですか。

⑦ 今後この会で取り上げてほしい内容、ご興味のある内容、ご要望などございましたらご記入下さい。

1. 在宅連携 2. 病診連携 3. 疼痛緩和スキル 4. ITの応用 5. 疼痛以外の身体症状緩和スキル 6. 精神症状緩和スキル 7. 認知症 8. 独居対策 9. コミュニケーションスキル

⑧ 今後のこの会の形式についてご意見をお願いします。

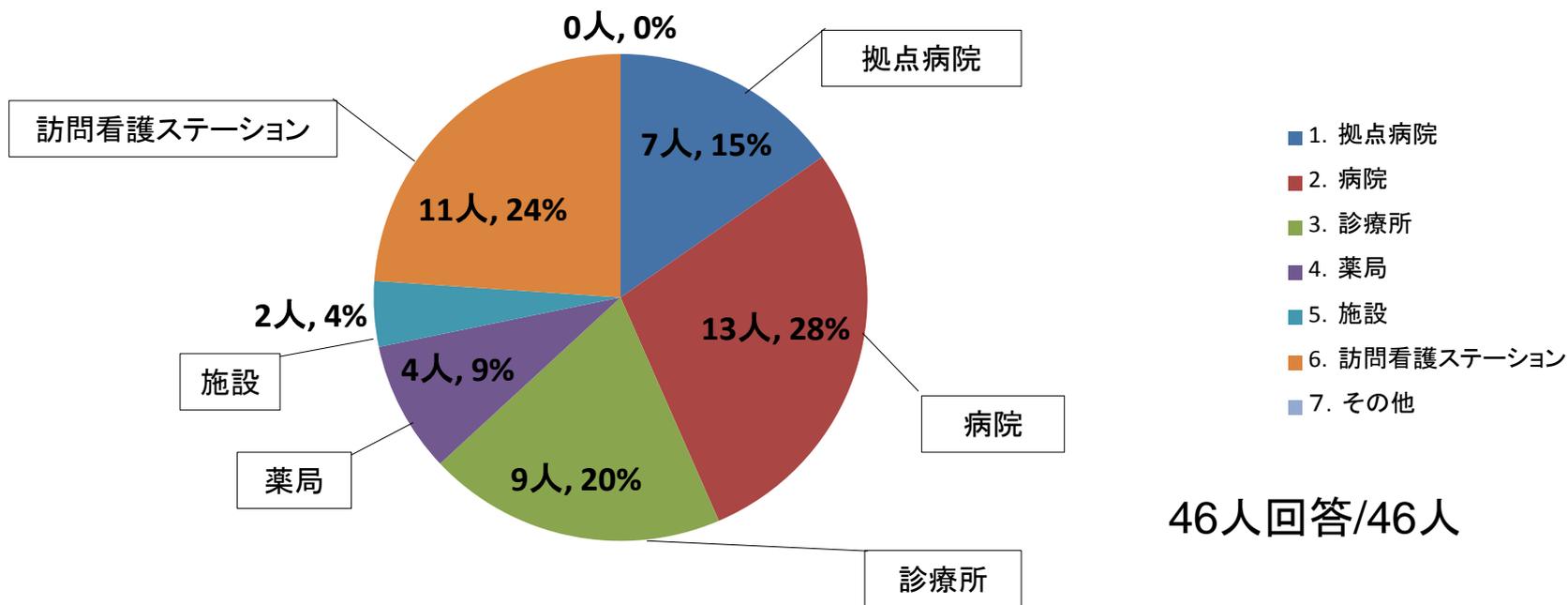
1. 現在と同様の講演会形式 2. 会場との質問形式増やす 3. 参加者で小グループ作りワークショップ 4. その他

⑨ この会は、現在年4回実施しておりますが、開催回数はいかがでしょうか。

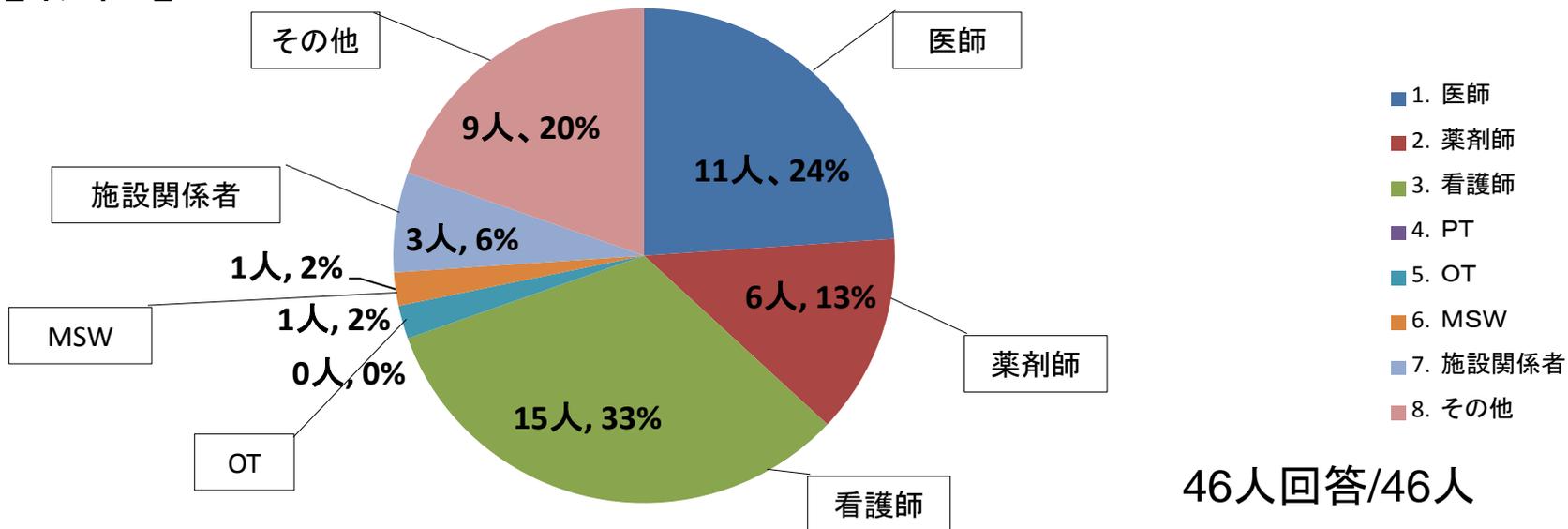
1. 現状のままでよい 2. 年 回がよい(数字を記載してください。) 3. その他

⑩ その他、本会へのご要望等、ご意見感想をお願い致します。

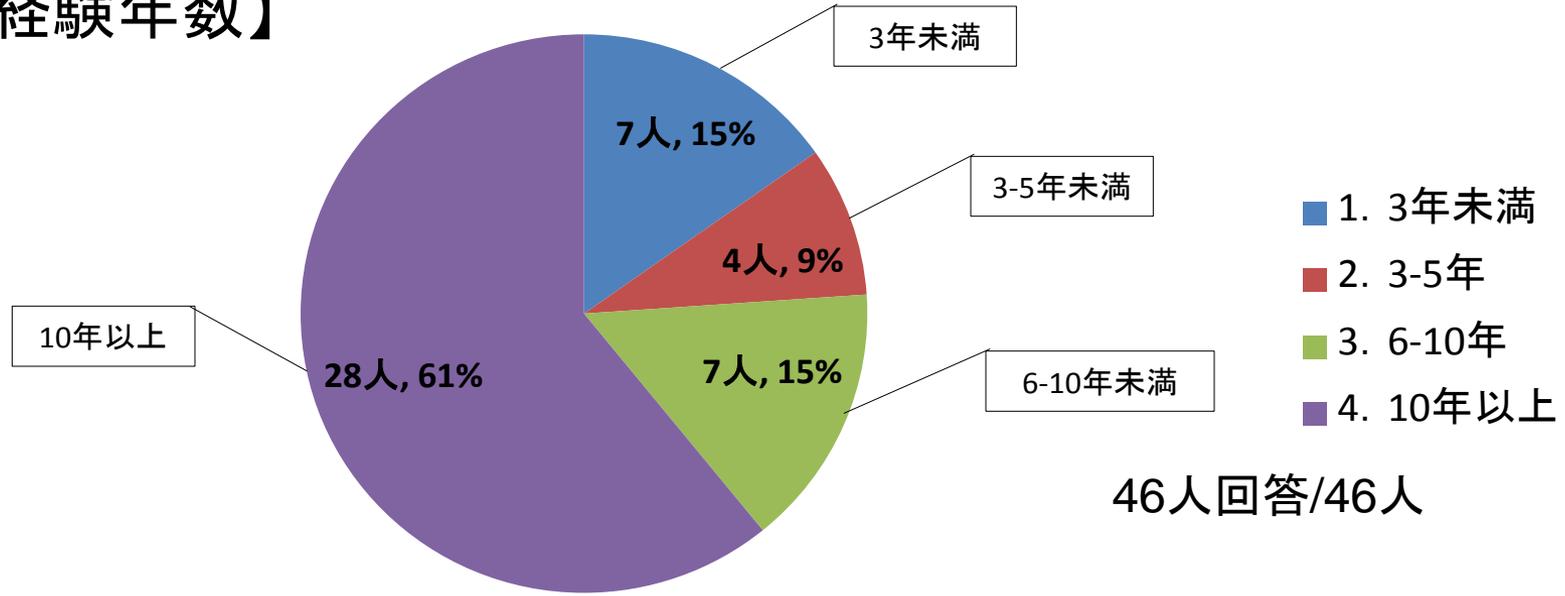
【所属】



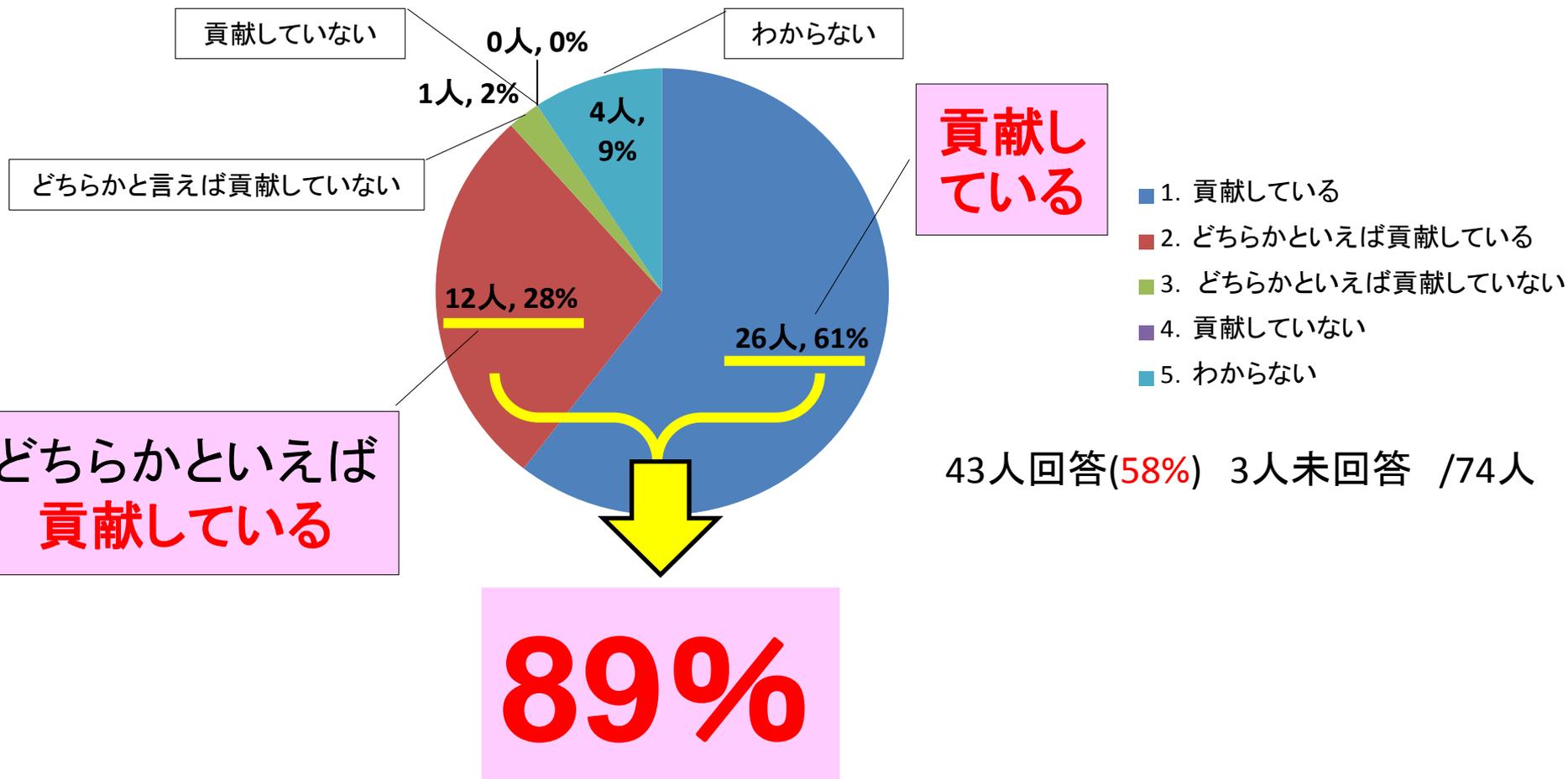
【職種】



【經驗年數】



本フォーラムは 地域の『顔の見える関係づくり』に貢献していますか



【フォーラムに参加後、 地域における御自身の**お仕事の中で変化はありましたか**】

連携関連：

地域との**連携を意識**して関われるようになったと思う。

地域の先生方との**連携がスムーズ**にできるようになった。

顔の煮える関係、地域一体型緩和ケアネットワーク作りに近付けている。

いろいろな先生方と**知り合いになる事ができ**、連携についてもとても助かっています。

お世話になった**連携先の活動を知る**事ができ、さらに利用させて頂きたいと思いました。

自己の変化：

フォーラムでの情報が広がる事で、自分の中に**相談援助の部分に活かせる**事はとても嬉しいと思います。

出来るだけ在宅で過ごせるように努力したいと思います。

物理的障害：

高梁市なので連携にまでは繋がっていませんが、緩和ケアについて学ばせて頂いています。

【緩和医療あるいは在宅医療において、 現在、あなたが**困っていること**はなんですか。】その1

投与に関して:

- ・内服薬の拒否

診断と治療に関して:

- ・活動量と運動量の細かい確認
- ・外来患者の緩和についての相談。

独居に関して:

- ・独居の方へのフォロー
- ・独居の患者さん、家族の支援が得られにくい患者さんについては、いつも頭を悩ませている所です。
- ・独居老人、認知症例の緩和。
- ・抗がん剤治療を希望され通院されていたが、独居であり一人での通院が難しくなり、往診医を希望されたが、病院の主治医が入院をすればいいと言われ本人の希望にそえなかった。主治医の変更が難しいです。

コミュニケーションに関して:

- ・患者様本人、御家族とのコミュニケーションの取り方。
- ・家族の理解と受け入れ、介護力。
- ・Drが患者と向き合わない
- ・療養病床に勤務しているので、長期療養の時間が長くある為、途中から癌の再発等では本人・家族の意思が異なる時に困る事があります。

【緩和医療あるいは在宅医療において、 現在、あなたが**困っていること**はなんですか。】その2

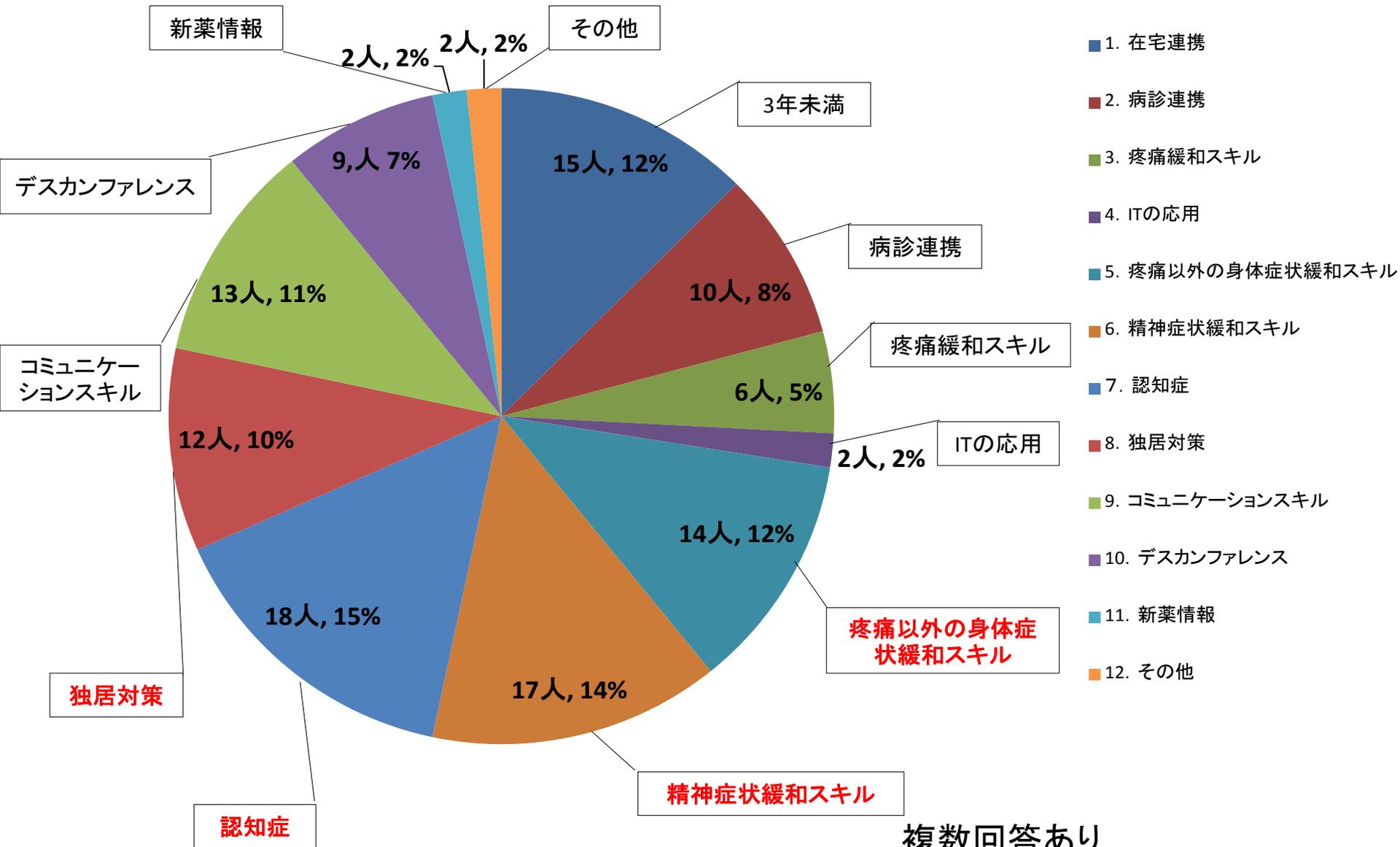
情報共有に関して:

- ・緩和等に経験のあるチームが集合できる事は理想的ではありますが、**在宅、生活面を病院へ伝える事、医師へ分かってもらえる話せる場面がない所・・・窓口もわからない。**
- ・**訪問診療のDrとの連携**が意外と難しい事が多々ある。(患者さんの全体像を考えての**意見交流ができにくい。**)
- ・**拠点病院医師の在宅に対する意識の低さ。**
- ・主治医より、病状説明をする際、「**自宅退院は不可能**」と言い切ってしまい、家族が戸惑う事がある。退院先を選択するのは家族や本人なはずなのに・・・と違和感を感じる。

連携に関して:

- ・連携がスムーズにいかないケースもありますが、具体的には・・・
- ・**病状の変化が大きい患者さん**への態勢作りが難しい。
- ・在宅医療を希望されていても、なかなか**条件にあうクリニック**が見つからない時。
- ・地域の病院から倉敷の**拠点病院**に紹介された患者さんには、**在宅医療や在宅での看取りについての選択肢が示されていない事**が多い。そのまま、地域の病院で終末期を過ごす事になっているように思います。

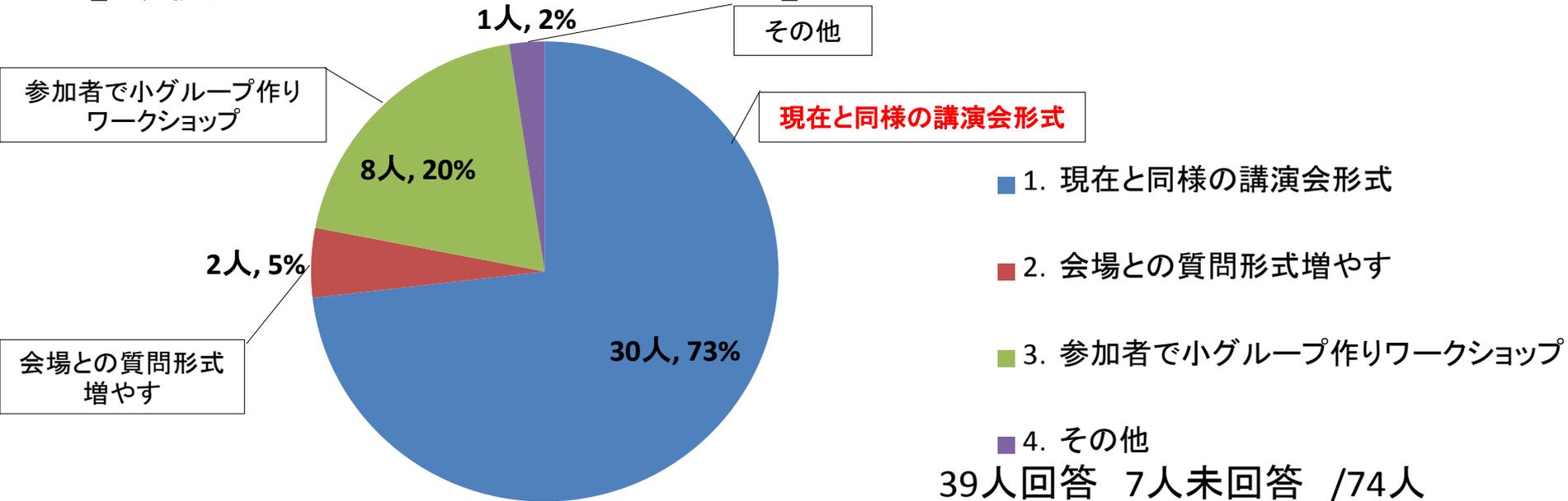
【今後この会で取り上げてほしい内容、ご興味のある内容は？】



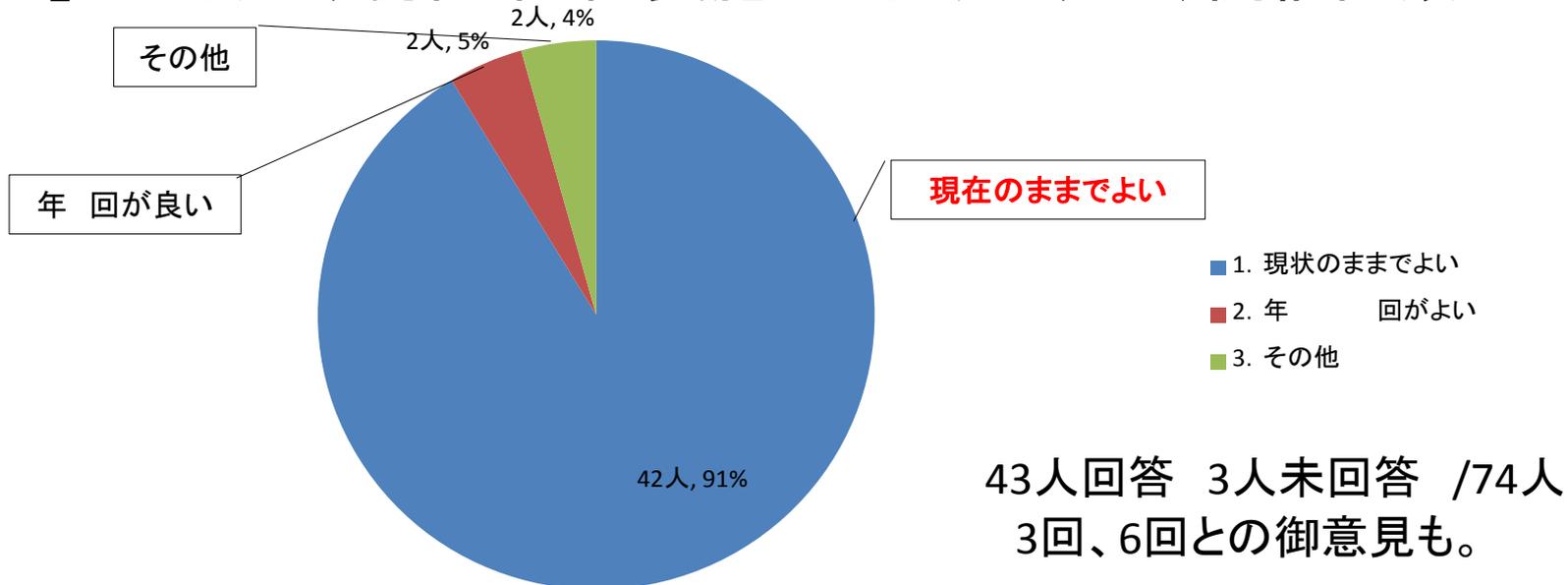
複数回答あり

42人回答、4人未回答 /74人

【今後のこの会の形式について】



【この会は、現在年4回実施しておりますが、開催回数は？】



【本会へのご要望等、ご意見ご感想】

大変勉強になりました。大変有意義でした。

長い事続けてほしい。

病院看護師も、どんな形でもいいので、**地域のDrと患者の事で交流**できたらいいなと。

在宅側の問題、**介護、ホームヘルパーさん等**の困難点等も拾って頂けたらと思う。

他施設との取り組み等を**情報提供**して頂ける事で、もし自分が癌等になった場合の施設選び、自己決定できる為の情報に繋がる事。また、患者支援にも使える事で今後も勉強していきたいと思えます。

アンケートにご協力いただき
ありがとうございました。